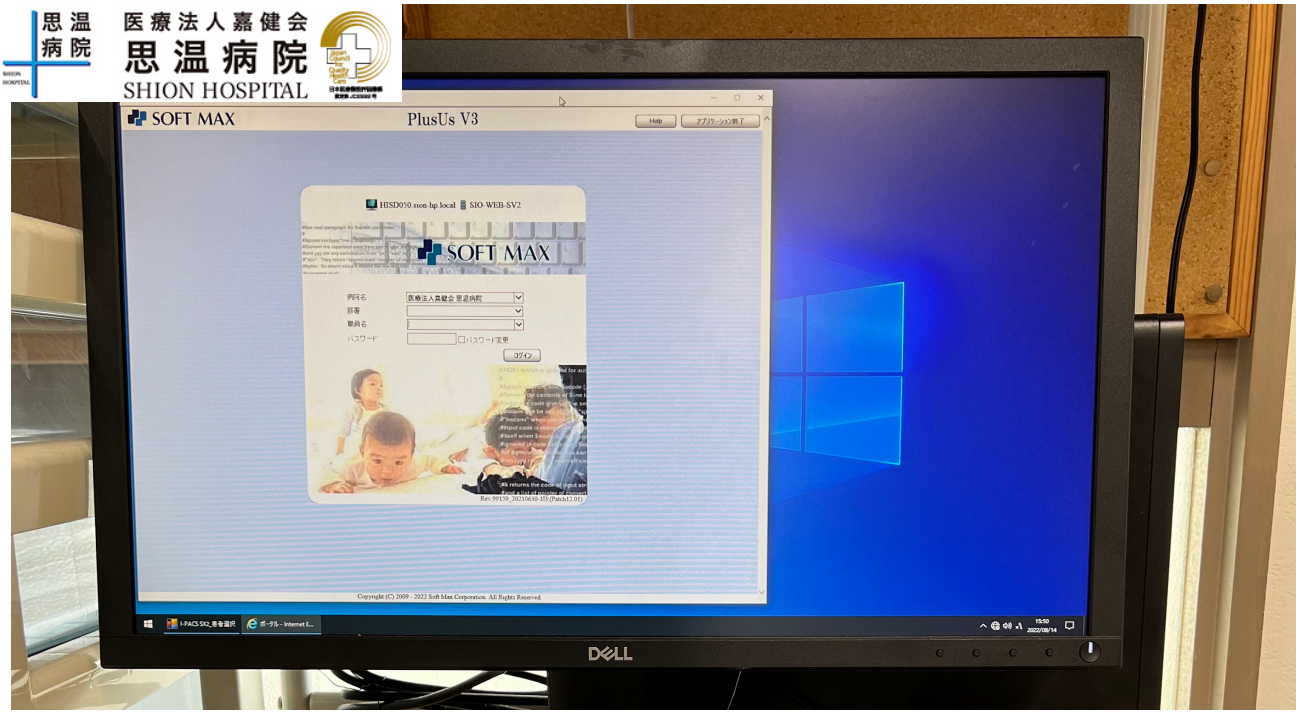
しおんだより VOL.22

医療法人嘉健会 思温病院 SHION HOSPITAL



電子カルテが導入されてほぼ半年が経過

時間がかかりすぎて、どうなるかと思った、と言う方もいらっしゃるでしょうか。当院で電子カルテを導入して、この8月末で半年になります。紙のカルテは、軽くて早くて何よりも慣れているのですが、やはり、電子化して良かったな、と思うところがあります。

画面とにらめっこするのに夢中で、患者さんの話を聞いたり、診察したりする時間が少なくなってはいけない。。。そう思いながら診療にあたっています。

その代表的なものが、患者さんの情報をより早く正確にまとめられることです。例えて言えば、昔、どの家にも電話機の横にあった五十音順に分類して書き込む電話帳に似ています。でも、探したい番号が探せなかったり、字が読みづらくてゼロだと思った数字が6だったりという経験ありませんか。今の若い人はご存じないでしょうが…。しかし、今や電話帳はスマホの中にあるという方がほとんどではないでしょうか？名前や履歴で検索することで、お目当ての番号を早く探せますし、かけ間違いもありません。

あれと似たような感じで、診察・診療のスピードや正確性は格段にアップしていると感じます。また、何よりも情報が共有されることのメリットは大きいと思います。医師、薬剤師、看護師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など様々な専門職が治療にあたっていますが、それぞれの治療に関する考えを共有することで、より良い医療を提供できることにつながっていると実感します。さらなる習熟にはもう少し時間がかかるかも知れませんが、是非、ご理解とご協力をいただきますようお願いします。

昔は、紙の書類が院内を行き来していたことを示す痕跡

電子カルテは、診療の質も上げてくれると思いますが、それと同時に様々な作業の効率もアップします。

その代表的な機械の痕跡が、皆様にはご覧頂けませんが、放射線科の一角にあります。「メールボーイ」と名付けられた機械ですが、これは、書類をいれたケースを機械にセットして、番号を指定してGoボタンを押せば、そこまでその書類が届くというものです（ちなみに、千本病院というのは、当院の以前の名称です）。

私が医師になった27年前には、大学病院でもこの手の機械は動いていて、長い廊下の天井をボックスが動いていくのを口をあけながら見上げていたものです。

当時としては、最新鋭の機械だったと思いますし、導入にもそれなりのコストがかかったと思いますが、電子カルテになって情報はどこからでも見たり、記入したりすることが可能になり、不要になりました。エコの重要性が今後も高まっていくと思いますので、極力紙を使わずに業務を行うこともますます重要になっていくでしょう。

残暑を乗り切るには、水分と塩分を摂りましょう！

朝のランニング中に見つけたひまわり。こういうものに目がとまる年代になったのですね。。。

今年は、8月7日が立秋でした。ということは、暦の上ではもう秋。残暑の期間になります。とはいえ、秋というのは名ばかりで、まだまだ猛烈に暑い日が続きます。外来には、熱中症のような症状で来られる方も少なくありません。テレビやラジオでもよく言われてますが、こまめに水分をとり、お部屋の中にいても我慢せずにエアコンを使うようにしましょう。

また、水分と同時に塩分も摂った方が効果的です。とはいえ、最近では経口補水液というものが売られていますので、それらを用いるのも効果的です。

8月23日には、処暑といって、暑さが落ち着き始める頃とされています。それまで、もう少しの辛抱！そう言い聞かせ、体調に気をつけて過ごしたいと思います。（文責：狭間研至）

しおんだより　第22号　　発行日：令和4年8月15日
発行人：狭間研至　　発行元：医療法人嘉健会　思温病院
〒557-0034 大阪市西成区松1−1−31　電話06-6657-3711　HP: www.shion-hp.or.jp